

カセットプレーヤー・レコーダー

GB-001シリーズ

取扱説明書

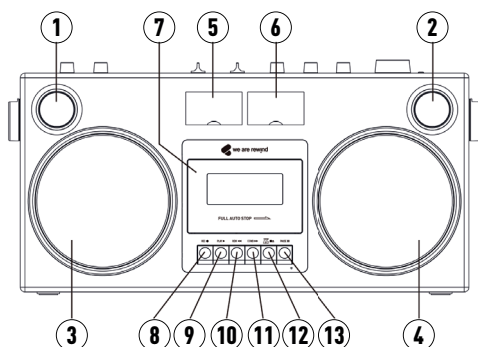
バージョン:GB-20260303



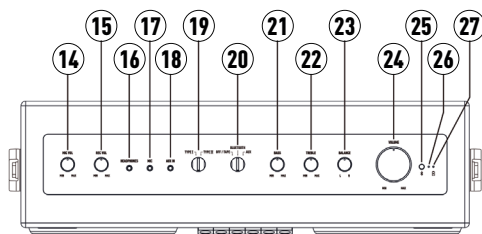
本機の使用や操作を始める前に、この取扱説明書を最後までお読みください。この取扱説明書は、いつでも参照できるように、大切に保管してください。

- 安全上の注意を読み、すべての指示を守ってください。
- 全ての警告に従ってください。
- 本体の清掃は、柔らかい乾燥した布(清掃クロス)以外使用しないでください。
- 本機を、水滴や水しぶきで濡らさないようにしてください。
- 本機は、過酷な環境(力がかかる、衝撃がかかる、ほこりや砂、高湿、低温、高温など)にさらさないようにしてください。
- 本機は、ラジエーター、ストーブ、またはその他の発熱する機器など、熱源の近くに置いたり、熱源の近くで使用したりしないでください。
- 本機の上に、燃えるろうそくなど、裸の火元を置かないでください。
- 本機に、蛍光灯や電動モーターなどの電波干渉源を近づけないでください。
- ご注意:** 本機のバッテリーやその他すべての部品は、ユーザーによる修理はできません。バッテリーは交換可能ですが、必ず資格のある電気技術者/修理業者が行う必要があります。詳細は、第3項(末尾)を参照してください。
バッテリーを誤った方法で交換した場合、火災、爆発、損傷の危険があります。
- ご注意:** 本機が倒れて負傷事故が発生することを防ぐため(例:小さなお子様などが誤って倒すなど)、テーブルの端、棚の上、タンスの引き出しなど、不安定な場所には置かないでください。
- ご注意:** ヘッドホン/イヤホンを長時間フル音量で使用すると、聴力を損なう危険性があります。音量は過度にならないよう注意して設定してください。
小さい音量からはじめ、音が歪みなくはっきりと聞こえるようになるまで、音量を徐々に上げてください。
- 本機と、ヘッドホンまたはイヤホンは、自動車や原動機付車両の運転中は使用しないでください。これは危険行為であり、一部の州または国では、違法とみなされます。

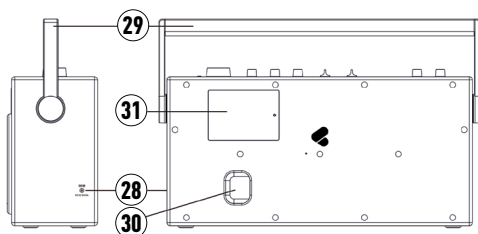
F1



F2



F3



- | | |
|----------------|---------------|
| ① 左側ツイーター (高音) | ⑧ 録音ボタン |
| ② 右側ツイーター (高音) | ⑨ 再生ボタン |
| ③ 左側ウーファー (低音) | ⑩ 巻き戻しボタン |
| ④ 右側ウーファー (低音) | ⑪ 早送りボタン |
| ⑤ 左側VUメーター | ⑫ ストップ/取出しボタン |
| ⑥ 右側VUメーター | ⑬ 一時停止ボタン |
| ⑦ カセット蓋 | ⑭ マイク音量調節 |

JP

- ⑮ 録音音量調節
- ⑯ ヘッドホン端子
- ⑰ マイク端子
- ⑱ AUXオーディオ端子
- ⑲ ノーマル(I) / ハイポジション(クロム)(II)
テープ種類選択
- ⑳ 入力選択
- ㉑ 低音(バス)調節
- ㉒ 高音(トレブル)調節
- ㉓ 音声左/右バランス設定
- ㉔ 音量(ラウドネス)調節
- ㉕ Bluetoothボタン
- ㉖ Bluetoothランプ
- ㉗ バッテリーランプ
- ㉘ DC 18V 電源接続
- ㉙ ハンドル
- ㉚ バスオーディオベント(ポート)
- ㉛ 電池ケース

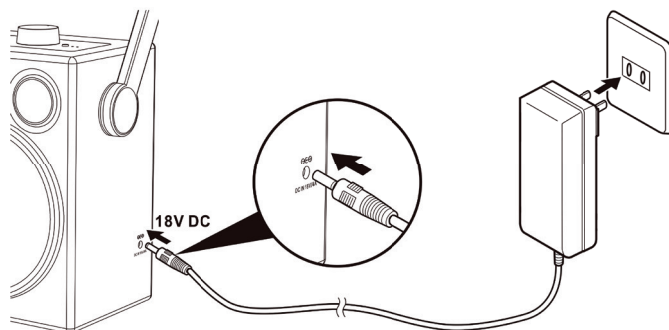
3. 電源

本機は、内蔵リチウムイオン充電電池を使用します
(定格電圧 - 定格容量 : 14.8V - 3000mAh)。

注: 出荷/配送時には、バッテリーは充電されていません。したがって、本機を使用する前には、バッテリーを100%まで充電してください。

内蔵バッテリーの充電

- ① 付属の18.0V - 4.0A AC/DCアダプターを、本機の右側面にあるDC INソケット(セクション2の ㉘ 参照)に差します。
- ② AC/DCアダプターのプラグを、家庭用AC電源コンセントに接続します。



- ③ バッテリーランプ(セクション2の ㉗ 参照)が赤く点灯していることを確認します。これは、バッテリーが、充電中であることを示しています。
- ④ バッテリー残量の初期状態によって、充電時間は、最大で4~5時間程度かかる場合があります。
- ⑤ バッテリーが完全に充電されると、バッテリーランプが消えます。

- ⑥ これで、本機をAC/DC電源アダプターから取り外し、使用を始めることができます。
- ⑦ 使用中は、バッテリーランプは消えたままになっています。
- ⑧ 電力がなくなりバッテリー残量が減ってくると、赤いバッテリーランプが点滅します。(このまま放置すると、本体の動作が完全に停止します。)この場合、上記の手順に従って、バッテリーを充電する必要があります。

バッテリー充電中の本機の使用

本機は、内蔵バッテリーの充電中も使用できます。

バッテリー寿命を長持ちさせるための注意事項

- バッテリーを完全に放電しきらないでください。
- 周囲温度が+40°C以上または+5°C以下になる場所では、バッテリーの充電をしないでください。

バッテリーの交換

バッテリーの寿命が近づいた場合は、交換が可能です。

注意: バッテリーの交換は、必ず資格のある電気技術者に依頼してください。バッテリーは自分で交換しないでください。ユーザーが自分で交換を行った場合、火災、爆発、または損傷の危険があります！

バッテリーの交換:

資格を有する電気技術者／修理技術者向け指示。

- ① 交換用バッテリーには、同型(ブランドおよびモデル)を使用してください。
- ② 電池ケースは、裏側の左上にあります⑳。
- ③ 古いバッテリーを取り外します。
- ④ 新しいバッテリーを電池ケースに挿入し、接続します。
- ⑤ スライドスイッチを、バッテリーのピクトグラム「NEW」で示されたとおり、左の位置に合わせます。
- ⑥ 同じタイプのバッテリーが入手できなくなった場合、代替バッテリーに、以前のバッテリーと互換性があり、新しいバッテリーが、バッテリーの3ピンコネクタに適切に接続されていることを、有資格電気技術者／修理技術者が確認してください。スライドスイッチは、上記5)のとおり、左の位置に設定します。
- ⑦ 電池ケースを閉じます。
- ⑧ 新しいバッテリーの初期充電は、セクション3(始め)の手順に従ってください。

ロータリースイッチ(セクション2の ㉓)により、音源を選択できます。

テープTape、Bluetooth、AUXの3つから、スピーカーまたはヘッドホンの入力を選択します：

ロータリースイッチでは、BLUETOOTH入力またはテープ録音用AUX入力を選択します。

① (オフ/テープ)OFF/TAPEポジション：

本機はオフモードです。本機の使用後に電源を切るには、この位置を選択してください。

この設定は、本機でのテープの再生と、スピーカーやヘッドホンでの再生にも使用されます - 詳細はセクション9「カセット再生と録音」を参照。

② BLUETOOTHポジション：

Bluetooth対応デバイス(例：スマートフォン)からのワイヤレスオーディオを入力し、スピーカーまたはヘッドホンから出力して再生します。

この設定は、Bluetooth対応デバイスの入力を本体テープに録音する場合にも使用します。 - 詳細はセクション9「カセット再生と録音」を参照してください。

③ AUXポジション：

AUX入力 (AUX)㉔ 端子に接続された、外部音源(例：CDプレーヤー)からの音を、スピーカーまたはヘッドホンで再生します。

この設定は、AUX入力を、本体でテープに録音する場合にも使用されます。詳細は、セクション9「カセット再生と録音」を参照してください。

5. サウンド バス/トレブル/バランス/ボリューム

BASS MIN/MAX ㉕：例えば大きなドラムの深い音や、ベースギターなど、低音域(または「低周波数」)の音量を調節します。

TREBLE MIN/MAX ㉖：フルートやバイオリンなど、高音域(「高周波数」)の音量を調節します。

BALANCE L/R ㉗：左側スピーカーと右側スピーカー(または左右のヘッドホン)からの音量を均等に調節します。

VOLUME MIN/MAX ㉘：全体の音量を調節します。

注1: 様々な音源で、音量レベルが異なる可能性があるため、スピーカーまたはヘッドホンの音に歪みが発生した場合は、音量を下げてください。

注2: このツイーターには、異常な負荷上昇から保護するため、過負荷の原因がなくなるか取り除かれるまで、一時的に出力とサウンドを縮小する、サーマルデバイスがついています。

マイク端子(セクション2 ⑰),は、カラオケやライブ録音用(ダイナミックまたはバッテリーエレクトレット) **モノラル**マイクを接続できます。 **13/14ページをご覧ください。**
本機にはマイクは付属していません。

マイク音量(またはラウドネス)は、マイク音量 最小/最大ボタン ⑭ で調節します。
音量調整後の音は、以下のように処理できます。

- ① 本体でテープに録音する(例:ライブ録音)。
セクション9「カセット録音、ステップ1 - 重要事項」を参照。
- ② ロータリースイッチ ⑳ を選択すると、音声を本体内部でBluetoothデバイス入力(またはAUX入力) (またはテープ再生音声)とミックスできます。
ミックスサウンドはスピーカーから再生され、カラオケなどで使用できます。
- ③ ロータリースイッチ ㉑ を選択すると、音声を本体内部でBluetoothデバイス入力またはAUX入力とミックスできます。
ミックス音声の音量は、録音 音量 最小/最大ボタン⑮で調節でき、本機を使用してテープに録音できます。
セクション9「カセット録音」を参照してください。

7. ヘッドホン

ヘッドホン端子(セクション2、⑱) には、有線ヘッドホン(インピーダンス:標準32Ω)を接続できます。
本機には、ヘッドホンは付属していません。

ご注意: ワイヤレスヘッドフォンはサポートされていません。

ヘッドホン端子を差し込むと、スピーカーが自動的にオフになります。
ヘッドホンの音量とバランスは、ボタン ㉒ と ㉓ で調節できます。
ヘッドホンでは、低音・高音の調節はできません。

8. BLUETOOTH

本機はBluetooth (バージョン5.4) ワイヤレスレシーバーを内蔵し、タブレット、ノートパソコン、スマートフォン、別のオーディオシステムなど、別のBluetoothデバイスから送信された音声を受信できます。

注: 本機は、Bluetooth経由でワイヤレスオーディオを受信できます。
ヘッドホン、ワイヤレススピーカー、その他のオーディオシステムなどの、他のBluetooth受信機器に、音声をワイヤレスで転送することはできません。

BLUETOOTH送信機デバイスから音声を受信するには:

- 1 ロータリースイッチ(セクション2、⑳)をBLUETOOTHに合わせます。
- 2 Bluetoothブルートゥース送信機との自動ペアリングが行われます(手動でのペアリングは不要です)。自動ペアリング中に、青のBluetoothランプ(㉔)が高速で点滅します。接続が確立されると、ランプがゆっくり点滅します。接続が「オン」になり、本機は一時停止し、Bluetooth送信機デバイスからの音声を待機します。
- 3 音声受信中は、ランプは点灯したままになります。受信した音声はスピーカー/ヘッドホンで聞か、または本機内でテープに録音できます(セクション9を参照)。
- 4 **重要:** Bluetooth送信機に本機を接続できない場合は、別のBluetoothデバイスが既に本機に接続されている可能性があります。この場合、本機のBluetoothボタン(㉕)を長押しして、現在のBluetooth機器との接続を切断してください。これにより自動ペアリングモードに設定され、新しいBluetooth送信機デバイスと接続できるようになります。
- 5 本機を(ロータリースイッチ(㉑) オフ/テープまたはAUXに切り替えると、Bluetooth接続が切断されます。
- 6 Bluetooth接続範囲:10m以上
音声が途切れずに聞こえるよう、本機とBluetooth送信機器の間の見通し線を確保してください。

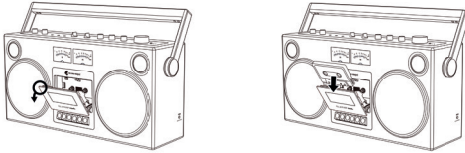
9. カセット再生と録音

カセット蓋を開ける

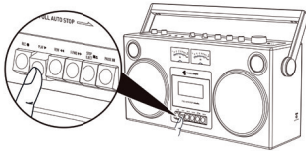
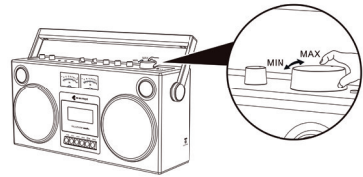
- カセットを使用していないときにカセット蓋を開けるには、停止/取出しボタン(セクション2、㉒) [STOP/EJECT] を押してカセット蓋(セクション2、㉑)を開けます。
- カセットが動作中の場合、カセット蓋を開けるには、停止/取出しボタン(㉒)を押して現在の機能を中断し、停止/取出しボタンをもう一度押します。

カセット再生

- 1 ロータリースイッチ(セクション2、㉑) を、オフ/テープに設定します [OFF/TAPE]。
- 2 上記の手順に従い、カセット蓋(セクション2、㉑) を開けます。
- 3 録音済みカセットテープを、露出面を下向きにして挿入します。

F5

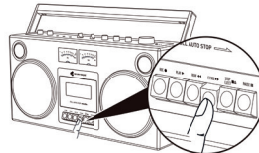
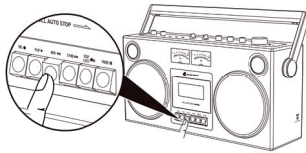
- ④ カセット蓋を閉めます。
- ⑤ カセットテープの種類を、TYPE I / TYPE IIスイッチ (19) で選択します。
テープの種類は、タイプIカセット(「ノーマルテープ」)またはタイプIIカセット(「ハイポジション/クロムテープ」)から選択できます。
- ⑥ テープを再生するには、再生「PLAY」▶ ボタン (9) を押します。
- ⑦ 音量 最小/最大ボタン (24) で、音量を調節します。

F6**F7**

注1: 再生中は、左右のVUメーター (5), (6) で、スピーカー左右の音量レベルをモニタリングできます。

注2: 再生するときは、セクション5のとおり、バス、トレブル、バランスを調節することもできます。(ただし、ヘッドホンでは、バス、トレブル、の調節はできません。セクション7を参照。)

- ⑧ テープセクションにアクセスするには、早送り「F.FWD」▶▶ ボタン (11) または巻き戻し「REW」◀◀ ボタン (10) を押します。

F8

注意: 早期摩耗を防ぐため、
早送り▶▶、巻き戻し◀◀、再生▶ボタンは連続で押さないでください。
常に正しい順序に従ってください。
現在のボタン → 停止 → 次のボタン → 停止 → …

注: 本機はカセットテープと再生メカニズムを保護するフルオートストップシステムを搭載しています。このシステムはテープと再生メカニズムへの負担を防ぐため、4つのモード(再生、早送り、巻戻し、録音)で、テープの終わりまで来ると回転とカセットの動きを止め、カセットメカニズムを停止させます。

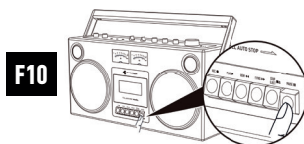
JP

- 9 再生を途中で停止するには、停止/取出し STOP/EJECT ボタン ⑫ を押します。再生モードは、上記のように、テープの終わりに来ると、テープを操作しなくても、自動的に再生を停止します。



10 (PAUSE II)一時停止機能(ボタン ⑬):

この機能は、録音中に おに使用されます(セクション9、「カセット録音」を参照)が、再生時にも使用できます(セクション9「カセット録音」注1を参照)。再生モード中に一時停止ボタン ⑬ を押すと、再生は一時停止ボタンが再度押されるまで一時的に中断します。再生を開始すると、以前一時停止された箇所から再開されます。一時停止機能は、早送りと巻き戻しモードでは利用できません。



カセットへの録音

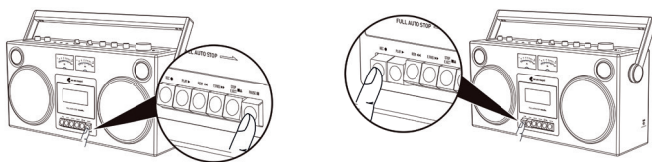
- 1 BLUETOOTH または AUX入力のいずれかの入力音源にあわせて、ロータリースイッチ ⑳ を切り替えます

重要:BLUETOOTHまたはAUXの録音中に、ロータリースイッチ ⑳ がオフ/テープに設定されている(例えば設定を誤ったなどの)場合、下記のステップ9以降では、音が録音されません。[オフ/テープ = OFF/TAPE, セクション4]

重要:マイク入力のみでの録音の場合は、ロータリースイッチ ⑳ をオフ/テープに切り替えます。[オフ/テープ = OFF/TAPE, セクション4]

- 2 一般に、BLUETOOTHまたはAUXの出力レベルは100%に設定してください。
- 3 セクション9の冒頭のとおり、カセット蓋 ㉑ を開けます。
- 4 空のカセットをセットします。
- 5 カセット蓋を閉めます。
- 6 タイプIカセット(「ノーマルテープ」)またはタイプIIカセット(「ハイポジション/クロムテープ」)のいずれかのカセットのタイプを、TYPE I / TYPE IIスイッチ ㉒ で選択します。
- 7 一時停止PAUSE II ボタン ⑬ を押し、録音REC●ボタン ⑧ を押します。

F11



- 8 重要:** 録音音量 最小/最大REC VOLボタン (15) を使い、VUメーター (5), (6) で、-30dB~-10dBに調節します。ピークでは、0dBを超えないようにします。
- 9** 一時停止PAUSE || ボタン (13) をもう一度押します。ステップ1で選択された録音音声、テープに録音されます。
- 10** 録音を停止するには、停止/取出しSTOP/EJECTボタン (12) を押します。

注: 前のセクション「カセット再生」の注8を参照してください。

カセットを操作しない場合、テープが終わると自動で録音が停止します (フルオートストップシステム)。

- 11** 録音された音を聞くには、巻き戻しREW ◀◀ ボタン (10) を押してテープを巻き戻し、再生PLAY ▶ ボタン (9) を押して、再生を開始します。

注1: カセット再生モードで、一時停止 || ボタン (13) は、再生を一時停止し、すぐにテープの同じ箇所から再開する場合にも使用できます。早送りおよび巻き戻しモードでは、この機能は利用できません。

注2: 音量 最小/最大ボタン (24) は、録音レベルには影響しません。

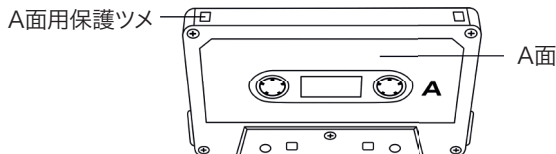
注3: カセットの誤消去防止

テープに音声を録音すると、通常は以前の録音が自動的に上書きされます。このため、カセットには以前の録音が誤って消去されないよう保護する保護ツメがついています。カセットの録音が、誤って消去されないよう保護したい場合、ナイフまたはドライバーを使用してカセットの角のツメ (またはA面とB面の両側を保護する場合は両側のツメ) を折ります。カセットのA面を手前に向けた場合、A面側のツメは左隅です (図を参照)。

保護されたカセットにもう一度あとから録音する必要がある場合は、粘着テープでツメを折った穴をカバーしてください。ツメを折った穴が空いていると、録音ボタン (8) [REC ●] を押せなくなっています。

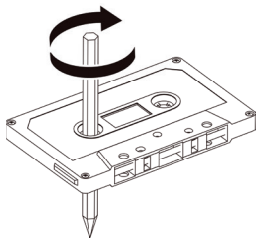
カセットの消去防止ツメが折ってある場合は、本機が損傷する危険があるため、録音ボタン (8) [REC ●] を無理に押し下げないでください。

JP

F12

10. カセット - 取扱いのヒント

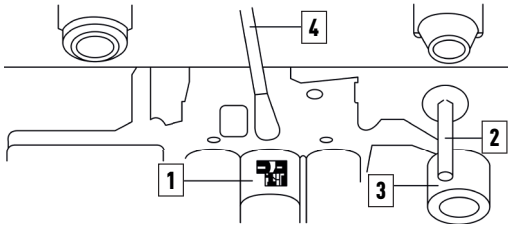
- ❶ 録音再生で最高の品質を得るには、例えば「RecordingTheMasters」が提供する新しいFOXオーディオカセットなどの高品質カセットを使用してください。
- ❷ 120分(C-120)カセットは、テープが薄く長く、詰まりやすいため、カセットメカニズム損傷が発生し故障する可能性が高いことから、推奨されません。
- ❸ カセットの先頭にはリーダーテープ部分があります。このエリアには、録音ができないため、ヘッドに記録可能な部分が出るまで、約5秒間カセットを回す必要があります。
- ❹ テープにたるみがある場合は、カセットを挿入する前に、たるみを取り除いてください。たるみを取るには、図のように、ハブ部分に鉛筆を差し込んでテープを手で回します。

F13

- ❺ 良好な品質の音声を再生するためには、10～20時間使用ごとに、テープヘッドを清掃する必要があります(下記のNo.6を参照)。テープヘッドが汚れると、音の歪みやテープ速度の異常を引き起こすことがあります。カセットは高温や低温を避けて保管することが推奨されます。
- ❻ テープヘッドを清掃するには、以下の手順に従ってください。
カセット蓋を開けて、再生 PLAY▶ ボタン ⑨ を押します。テープヘッド清掃用の小さな綿棒に、テープヘッドクリーナーまたはアルコールを染み込ませて、テープヘッド、キャプスタン、ピンチローラーを清掃します。

JP

F14



- 1 磁気ヘッド
- 2 キャプスタン
- 3 ピンチローラー
- 4 綿棒

11. 仕様

オーディオ

- スピーカー - 周波数特性: 40Hz~20kHz \pm 3dB
- 4つのオーディオアンプ - 合計出力104W (ウーファー 2x32W + ツイーター 2x20W)
- PBE: 心理音響的低音強化
- デュアルアナログVUメーターでのスピーカー左右出力レベル表示
- ヘッドホン: 出力 2x2mWrms / インピーダンス 32 Ω 標準

カセットプレーヤー

- 2トラック ステレオ再生
- ワウフラッター: 約0.15% (標準)
- 速度精度: 3000Hz -0.6% / +1.0%
- 周波数特性: 40Hz~12.5kHz -3dBで1kHz
- 高調波歪み THD: 0.5%未満
- S/N比: 55dB以上 (聴覚特性補正)
- テープ タイプI / タイプII 切り替えスイッチ
- ピッチ調節: 裏側カバーからアクセス可能
- フルオートストップ (録音 / 再生 / 巻戻し / 早送り)

カセットレコーダー

- 2トラック ステレオ録音
- 周波数特性: 40Hz~11.5kHz -3dBで1kHz
- 高調波歪み THD: 1%未満
- S/N比: 55dB以上 (聴覚特性補正)
- テープ タイプI / タイプII 切り替えスイッチ
- デュアルアナログVUメーター表示での左右録音レベル調節
- フルオートストップ (録音 / 再生 / 巻戻し / 早送り)

接続性 (聴取/録音用入力)

- テープ再生: 入力は上記の通り - テープ再生は聴取のみ可
- BLUETOOTH 5.4受信専用、通信距離10m以上、聴取/録音用
- AUX外部アナログ音源、最大0.6Vrms、聴取/録音用

JP

- ・マイク(モノラルマイクのみ対応):
 - 方式:ダイナミック型またはバッテリーエレクトレット型、オーディオレベル 1mVrms typ.
 - ライブ録音などのシングル入力として、または
 - カラオケやオーディオアニメーション用として別の音とミックス可
 - ↳ 聴取/カラオケ用として、テープ再生、Bluetooth、またはAUXとミキシング
 - ↳ 録音用としてBluetoothまたはAUXとミキシング
- ・**注:**ヘッドホンとAUX用ステレオ端子-いずれも3.5mm端子

電源

- ・内蔵リチウムイオン充電式バッテリー:
- ・定格電圧 / 定格容量: 14.8V / 3000mAh
- ・バッテリーは交換可能です(セクション3末尾を参照)。
- ・バッテリー充電中に、家庭用ACコンセントから電源を供給しながら同時に本機を使用することも可能です。
- ・バッテリー稼働時間:
約10時間~15時間(テープまたはAUXモード、スピーカーまたはヘッドホンの使用方法によって異なる)

周囲動作温度

- ・+5°C~+40°C

周囲相対湿度

- ・約30%~70%

重さ

- ・6.96kg

概算寸法(ハンドルを後ろに置いた状態):

- ・幅 × 高さ × 奥行き = 506 × 251 × 179 mm

12. カスタマーサービス

本体のネジを取り外したり、中を開けたりしないでください。内部には、お客様が修理できる部品はありません。修理(セクション3バッテリー交換を含む)は、すべて認定サービス技術者によるサービスをご依頼ください。

カスタマーサービスをご用命の場合は、以下の宛先までメールにてご連絡ください:
contact@wearerewind.fr



we are rewind • 26 rue Montcalm 75018 Paris, FRANCE.